

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第3表 2003年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第1地点	鶴ヶ岡5-177-3	5,526	事業所	2003.12.19~2004.1.22	2004.1.19~2.20	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡外遺跡第4地点	鶴ヶ岡1771-1他	5,911	給食センター	2003.12.10~12.24		試掘調査
3	亀居遺跡第57地点	鶴ヶ岡1-1-1	1,356	店舗	2003.4.24~4.28		試掘調査
4	鶴ヶ舞遺跡第7地点	鶴ヶ舞1-65-1	2,030	分譲住宅	2003.5.29~6.14	2003.6.23~7.3	試掘後、調査会で本調査
5	江川東遺跡第7地点	東久保1-160-47	88	個人住宅	2004.1.4		試掘調査
6	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.7		試掘調査
7	江川南遺跡第18地点	東久保258-51,52他	240	共同住宅	2003.7.11~7.16		試掘調査
8	江川南遺跡第19地点	東久保1-185-1	1,129	店舗	2003.9.18~10.8	2003.10.10~11.14	試掘後、調査会で本調査
9	江川南遺跡第6地点	亀久保3-193	10	店舗	2003.4.16~4.24		試掘調査
10	東久保遺跡第53地点	東久保4-10	408	共同住宅	2003.5.7~5.22		試掘調査
11	東久保遺跡第54地点	東久保19-1	798	共同住宅	2003.5.9~5.22		試掘調査
12	東久保遺跡第55地点	東久保18-7	165	個人住宅	2003.6.9~6.12		試掘調査
13	東久保遺跡第56地点	東久保15-12	165	個人住宅	2003.7.31~8.5		試掘調査
14	東久保遺跡第57地点	東久保258-26	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
15	東久保遺跡第57地点	ふじみ野2-4-3	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
16	東久保西遺跡第16地点	東久保10-6	273	個人住宅	2003.6.3~6.4		試掘調査
17	東中学校西遺跡第23地点	東久保33-6画地	1,233	共同住宅	2003.8.5~8.13		試掘調査
18	東久保南遺跡第29地点	東久保60-5	357	駐車場	2003.5.19~5.28		試掘調査
19	東久保南遺跡第30地点	東久保58-13画地	164	個人住宅	2003.8.4~8.5		試掘調査
20	東久保南遺跡第31地点	東久保59-1,2画地	2,948	店舗	2003.8.21~9.1	2003.9.5~10.5	試掘後、調査会で本調査
21	東久保南遺跡第32地点	ふじみ野4丁目9-4	289	店舗	2004.1.26~1.29		試掘調査
22	西ノ原遺跡126地点	旭1-13-6,7	153	個人住宅	2004.2.23~2.25		試掘調査
23	神明後遺跡第22地点	苗間235-2,3	430	分譲住宅	2003.7.8~7.29		試掘調査
24	浄禅寺跡遺跡第23地点	苗間592-1	100	個人住宅	2003.4.28		試掘調査
25	小田久保遺跡第5地点	大井1023	165	個人住宅	2003.8.18~8.19	2003.8.20~9.2	教育委員会で本調査
26	本村遺跡第104地点	市沢3-4-1	804	共同住宅	2003.5.14~5.30		試掘調査
27	本村遺跡第105地点	大井2-12-4	131	個人住宅	2003.6.4~6.6		試掘調査
28	本村遺跡第106地点	大井2-1-11	135	分譲住宅	2003.7.2~7.8		試掘調査
29	本村遺跡第107地点	大井2-12-4	130	個人住宅	2003.7.3~7.5		試掘調査
30	本村遺跡第108地点	市沢2-6-25	109	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
31	本村遺跡第109地点	市沢2-6-26	114	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
32	本村遺跡第110地点	市沢2-6-27	101	個人住宅	2003.10.16~10.18		試掘調査
33	本村遺跡第111地点	大井2-16-2	1,033	分譲住宅	2003.11.4~11.20	2003.11.21~12.11	試掘後、調査会で本調査
34	西台遺跡第3地点	大井西台925-1	137	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
35	西台遺跡第3地点	大井西台925-2、9	144	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
36	西台遺跡第3地点	大井西台925-10、13	141	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
37	西台遺跡第4地点	西台894-14,911-56	164	個人住宅	2004.1.15~1.16		試掘調査
38	東台遺跡第40地点	大井661	1,875	幼稚園	2003.10.6~11.4		試掘調査
面積合計			35,359				

XV 神明後遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12~16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。

本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2005年3月現在25地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

2 神明後遺跡第18地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2002年4月30日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北側に位置し、近接地では縄文時代の住居跡を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年5月13日から同年5月25日に行なった。幅約2mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、全てのトレンチで遺構覆土と思われる黒色土を検出した。遺構の性格を確認するため一部掘り下げて調査したところ、縄文時代の住居跡と時期不明の溝であった。原因者と再協議の結果開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2002年5月27日から同年6月21日まで大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代時代中期住居跡5軒、土坑、古代～中世の堀跡を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)



第62図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第27表 神明後遺跡第21地点出土遺物観察表

(単位cm)

No	出土地	種別・器種	口径	底径	器高	技法/文様その他	推定生産地	推定年代	備考・残存
1	地下室1	磁器・広東碗	10.6	6.2	5.7	轆轤成形/染付、柄杓と盃、酒壺に草花、見込みに波頭文	肥前	1780～1810年代	完形
2	地下室1	磁器・広東碗	11.5	5.3	6.5	轆轤成形/染付、ワラ文、見込みに文様	瀬戸・美濃	1800～1840年	完形
3	地下室1	磁器・丸碗(腰張)	8.4	3.6	5.9	轆轤成形/染付、ワラと鶴、見込みに花文	肥前	1780～1810年代	完形
4	地下室1	磁器・筒丸碗	7.0			轆轤成形/染付、蝶と草花	瀬戸・美濃	1820～1860年	口縁部
5	地下室1	磁器・端反碗	(8.0)			轆轤成形/染付、扇と草花	産地不明	1850～1860年代	口縁部
6	地下室1	磁器・端反碗蓋	11.0	4.5	3.4	轆轤成形/染付、外面人物図、内面雷文、見込みひょうたん、「太明年製」の銘	肥前	1820～1860年代	ほぼ完形
7	地下室1	磁器・小皿	(10.2)	(5.2)	2.2	型押成形/寿文	瀬戸・美濃	1840～1870年	1/4
8	地下室1	磁器・小皿	5.1	2.5	1.5	轆轤成形/	肥前		完形
9	地下室1	磁器・ミニチュア碗	2.3	0.9	1.1	型押成形/連弁文	肥前	18世紀前半	完形
10	地下室1	陶器・水注蓋	5.3	3.8	1.9	轆轤成形/灰釉	信楽	1800～1860年	ほぼ完形
11	地下室1	陶器・ひょうそく	4.5	4.5	5.4	轆轤成形/鉄釉、底部に軸穴有り	瀬戸・美濃	1840～1870年	口縁一部欠
12	地下室1	陶器・灯明受皿		5.4	5.1	轆轤成形/灰釉、油溝有り	信楽	1800～1860年	口縁部欠
13	地下室1	陶器・灯明受皿	10.4	5.2	2.0	轆轤成形/鉄釉、油溝有り	瀬戸・美濃	1800～1840年	口縁一部欠
14	地下室1	陶器・灯明受皿	10.1	4.3	2.0	轆轤成形/鉄釉、油溝有り	瀬戸・美濃	1800～1840年	口縁一部欠
15	地下室1	陶器・灯明受皿	9.8	4.0	2.0	轆轤成形/鉄釉、油溝有り、表裏タール状付着	瀬戸・美濃	1800～1840年	口縁一部欠
16	地下室1	瓦・軒瓦							
			長さ	厚さ	釘頭				
17	地下室1	鉄・釘	4.2	0.6		釘頭欠			
18	地下室1	鉄・釘	2.4	0.4	0.9	釘頭付			
19	地下室1	鉄・釘	3.2	0.4	0.7	釘頭付、屈曲する			
			長さ	幅	厚さ				
20	地下室1	鉄・刀子	9.6	1.5	0.3				
			口径	底径	器高				
21	地下室1上層	磁器・平碗	(16.0)	(5.7)	6.5	轆轤成形/染付、外面鳥、内面岩に波頭	肥前(系)	1820～1860年代	1/4
22	地下室1上層	磁器・丸碗	7.6	3.3	5.1	轆轤成形/染付、丸文散し	肥前	1700～1740年代	3/4
23	地下室1上層	磁器・小皿	(10.6)	(5.8)	1.9	轆轤成形/型紙摺り染付、漢詩文	産地不明	1883年～	1/4
24	地下室1上層	陶器・高田徳利				轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1840～1870年	胴部破片
25	地下室1上層	陶器・片口鉢	(21.8)			轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃		口縁部破片
26	地下室2	磁器・腰折型小碗	7.8	4.0	4.6	轆轤成形/銅版摺染付、柏文、蛇の目凹型高台	産地不明	1889年～	完形
27	地下室2	ガラス・薬瓶	0.5	3.9	7.5	型吹成形/透明、「健脳丸」(明治29年発売の脳神経薬)	大阪(発売)	1896年～	一部欠
28	地下室2	ガラス・薬瓶	1.9	3.2	4.3	型吹成形/茶、「専賣特許第一一二四五二号 松恵製薬所イトイラズ」、ネジ栓	不明	近代	完形
29	地下室2	ガラス・化粧瓶	4.0	3.2	5.3	型吹成形/白、ネジ栓	不明	近代	完形
30	段切り	磁器・丸碗	(8.7)			轆轤成形/染付、網目文	肥前	1780～1810年代	口縁部破片
31	トレンチ3	磁器・半筒碗	(7.0)			轆轤成形/染付、菊文	肥前	1780～1810年代	口縁部破片
32	トレンチ2	磁器・丸碗	(7.6)			轆轤成形/人工コバルト銅版摺染付、屋号「山一」	産地不明	1895年～	口縁部破片
33	トレンチ3	磁器・どんぶり碗		6.0		轆轤成形/色絵(緑色)、笹文	産地不明	近代～	底部破片
34	トレンチ3	磁器・輪花皿	(15.2)	(7.8)	4.2	轆轤成形/型紙摺り染付、日章旗	産地不明	1883年～	1/6
35		陶器・灯明受皿	7.7	5.3	5.1	轆轤成形/灰釉、油溝無し	信楽	1800～1860年	ほぼ完形

第28表 神明後遺跡第22地点出土遺物観察表

(単位cm・g)

No	出土地	種別・器種	口径	底径	器高	技法/文様その他	推定生産地	推定年代	備考・残存
1	井戸1	陶器・丸碗(腰張)	(9.0)	3.5	5.2	轆轤成形/灰釉、染付、星梅鉢文	瀬戸・美濃	1800～1840年	1/3
2	井戸1	磁器・丸碗	(9.6)	3.8	5.0	轆轤成形/染付、雪輪草花文、くらわんか手	肥前	1750～1770年代	1/3
3	井戸1	磁器・丸碗	(10.0)			轆轤成形/染付、唐草文、くらわんか手	肥前	1750～1770年代	口縁部
4	井戸1	磁器・五寸皿	(14.2)	(8.0)	3.2	轆轤成形/染付、見込み蛇ノ目釉剥ぎ、くらわんか手	肥前	1750～1810年代	1/8
5	溝10	磁器・小杯	(8.0)	3.0	4.1	轆轤成形/染付、笹文、くらわんか手、生焼け	肥前	1680～1740年代	口縁部
			長さ	幅	厚さ				
6	トレンチ5	土製品・人形	3.2	3.1		型押し成形/大黒様	江戸近郊		顔部分
7	トレンチ4	石製品・砥石	6.7	2.7	1.4				
			径	厚さ	重量				
8	井戸1	銅・銭貨	2.5	0.18	3.25	寛永通寶、「文銭」	亀戸	1668～1683年	完形
9	表採	銅・銭貨	2.3	0.12	1.05	寛永通寶、「新寛永」		1697～1781年	1/2

ロックが堆積する。東西の底幅270cm、確認面からの深さ170cmを測る。出土遺物から時期は明治時代。

【土坑1】調査区の南西、台地縁辺に位置する。地下室2と重複し、地下室2より新しい。平面形態長方形、断面「コ」字形で、上端630×80cm、下端560×75cm、確認面からの深さ100cmを測る。

【ピット】斜面部で検出する。足掛け穴。

第29表 神明後遺跡第21地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	半掘	37 × (24)	27 × (16)	36.4	
2	不整形	85 × 81	12 × 6	79.9	
3	不整形	30 × 18	19 × 13	29.9	
4	隅丸方形	23 × 22	12 × 7	43	
5	円形	27 × 27	12 × 10	51.4	
6	不整形	30 × 20	10 × 7	22.6	
7	円形	40 × 38	16 × 8	27.6	

6 神明後遺跡第22地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2003年7月1日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南側で、隣接地では縄文時代の遺構を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年7月8日から同年7月29日まで行なった。幅約2mのトレンチ6本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、全てのトレンチで遺構覆土と思われる黒色土を検出した。遺構の性格を確認するため一部掘り下げて調査したところ、近世の溝、土坑、ピット等であった。確認面まで60cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【井戸】上端156×138cm、深さ194cmまで掘削。出土遺物から江戸時代後半には埋没している。

【土坑】10基検出した。

【ピット】計38基検出した。

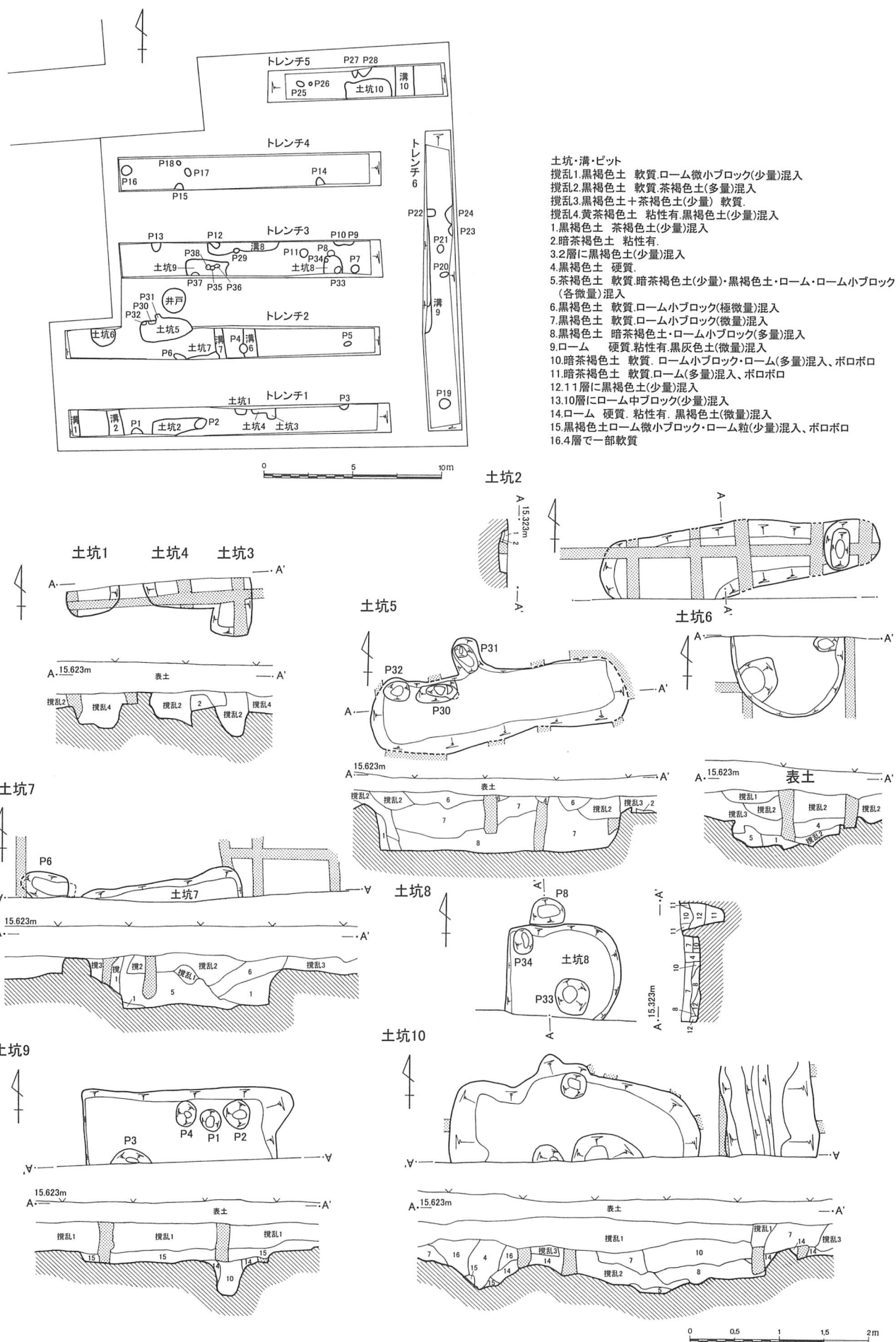
【遺物】江戸後期の陶磁器を主体に検出した。

第30表 神明後遺跡第22地点土坑一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	半掘	60 × (29)	37 × —	25	
2	半掘	315 × 81	(236) × (67)	11	
3	半掘	114 × 32	85 × —	23	
4	半掘	(63) × 44	(53) × 18	23	
5	隅丸方形	288 × 83	259 × 60	45	
6	半掘	128 × (89)	117 × (85)	33	
7	半掘	— × —	— × —	—	
8	半掘	127 × (104)	114 × (96)	23	
9	半掘	235 × (80)	198 × (69)	23	
10	半掘	281 × (106)	229 × (94)	35	

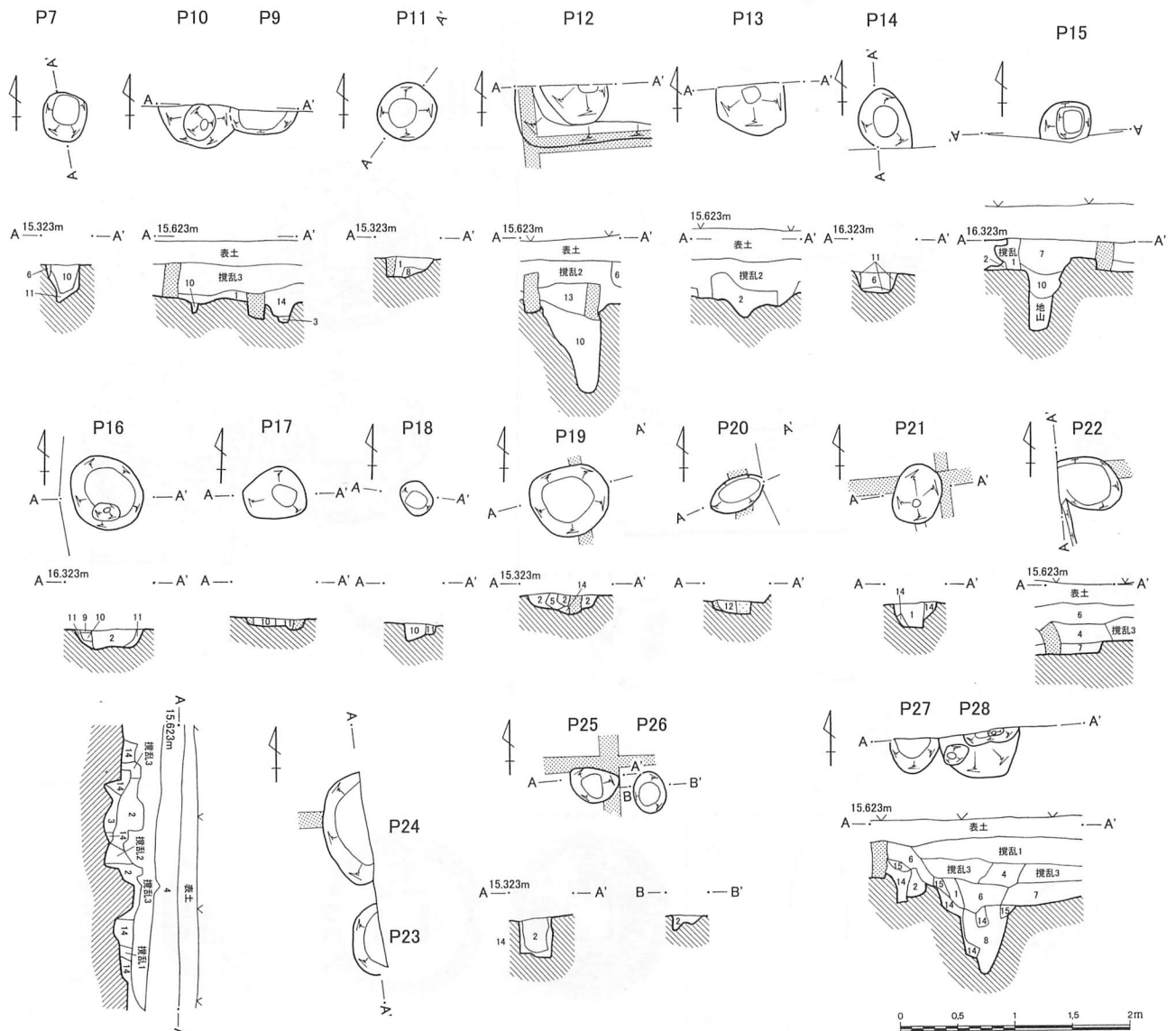
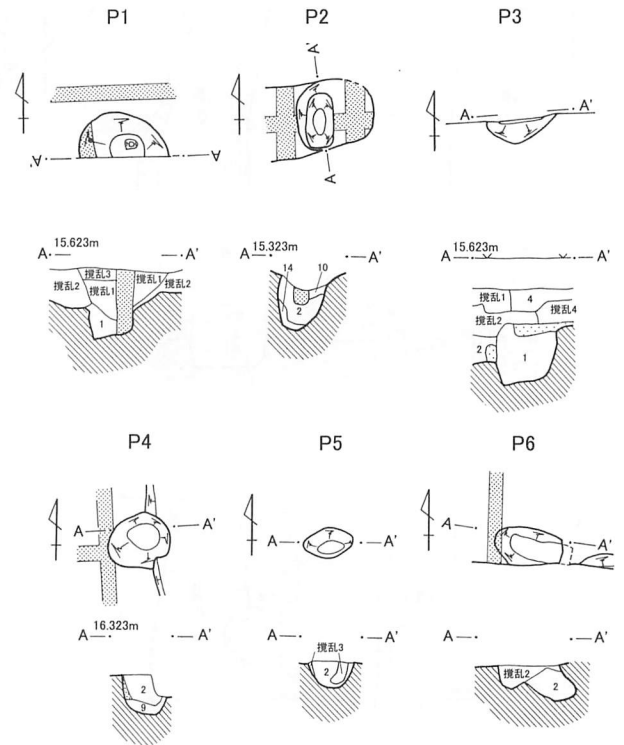
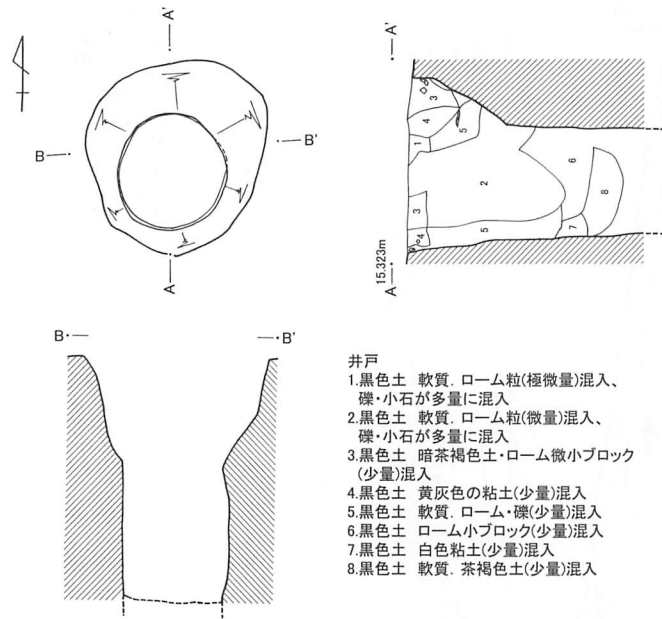
第31表 神明後遺跡第22地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	半掘	74 × (36)	5 × 2	41	
2	楕円形	63 × 55	21 × 10	46	
3	半掘	53 × (20)	34 × (2)	37	
4	不整形	49 × 44	25 × 20	34	
5	楕円形	40 × 25	21 × 9	21	
6	不整形	53 × 30	(49) × 15	36	
7	隅丸方形	42 × 39	25 × 22	35	
8	不整形	37 × 33	24 × 13	49	
9	半掘	(59) × (21)	41 × (17)	18	
10	半掘	(58) × (38)	11 × 6	67	
11	円形	49 × 48	28 × 23	22	
12	半掘	52 × (34)	18 × 6	68	
13	半掘	60 × (45)	18 × 15	44	
14	半掘	(52) × × 43	27 × 21	21	
15	半掘	44 × (35)	19 × 17	60	
16	円形	66 × 60	6 × 3	58	
17	不整形	51 × 44	21 × 17	29	
18	不整形	30 × 24	23 × 14	14	
19	楕円形	70 × 60	46 × 38	17	
20	楕円形	50 × 29	36 × 18	17	
21	楕円形	51 × 39	8 × 7	25	
22	半掘	(55) × 45	(47) × 36	16	
23	半掘	62 × (27)	48 × (17)	12	
24	半掘	95 × (38)	71 × (27)	24	
25	半円形	44 × 29	25 × 18	37	
26	楕円形	36 × 29	20 × 19	27	
27	半掘	44 × (30)	31 × (16)	24	
28	半掘	70 × (40)	4 × 3	78	
29	楕円形	45 × 27	9 × 8	36	
30	楕円形	47 × 21	12 × 9	43	旧土坑5内P1
31	楕円形	41 × 30	8 × 3	49	旧土坑5内P2
32	楕円形	28 × 22	15 × 10	39	旧土坑5内P3
33	隅丸方形	39 × 39	18 × 16	23	旧土坑8内P1
34	隅丸方形	29 × 21	17 × 6	32	旧土坑8内P2
35	隅丸方形	31 × 28	17 × 9	51	旧土坑9内P1
36	隅丸方形	25 × 21	12 × 8	30	旧土坑9内P2
37	半掘	48 × (17)	16 × 5	39	旧土坑9内P3
38	楕円形	29 × 22	9 × 6	44	旧土坑9内P4

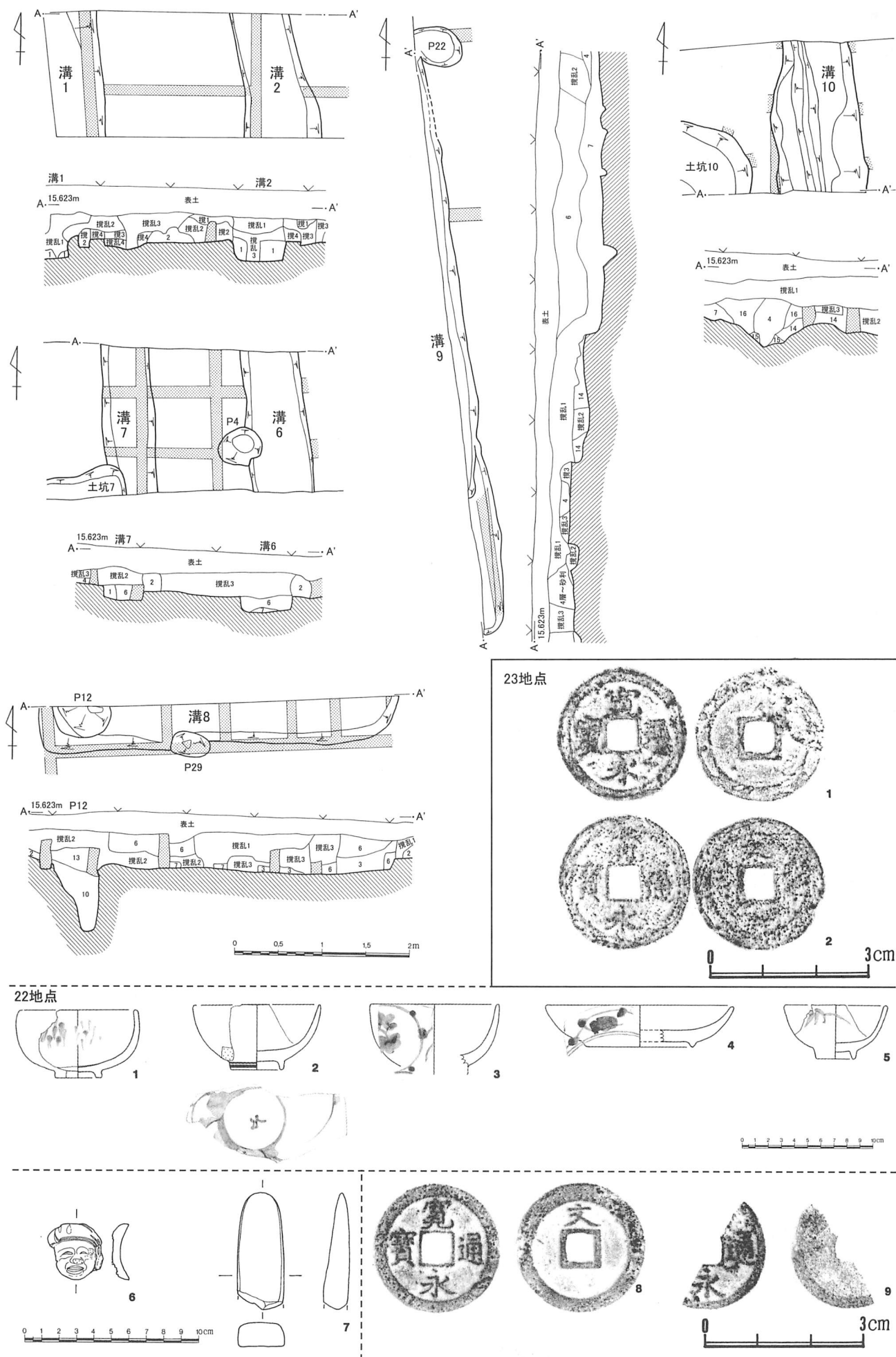


第68図 神明後遺跡第22地点遺構配置図(1/300)、土坑(1/60)

井戸



第69図 神明後遺跡第22地点井戸、ピット (1/60)



第70図 神明後遺跡第22地点溝 (1/60)、第22・23地点出土遺物、古銭 (1/4・1/3・1/1)



神明後遺跡第22地点試掘調査



神明後遺跡第22地点井戸・土坑 5



神明後遺跡第22地点井戸



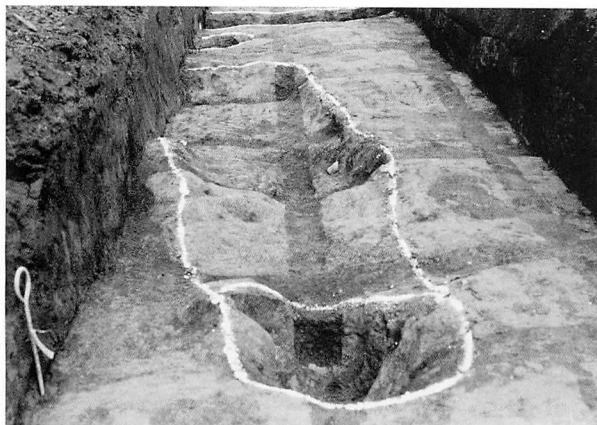
神明後遺跡第22地点溝 1・2



神明後遺跡第22地点溝 6・7



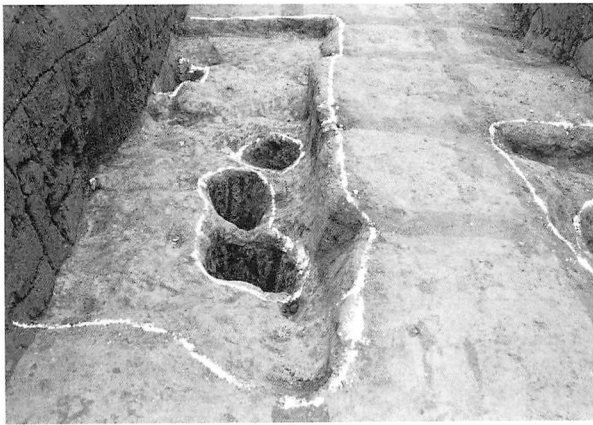
神明後遺跡第22地点土坑 1・3・4



神明後遺跡第22地点土坑 2



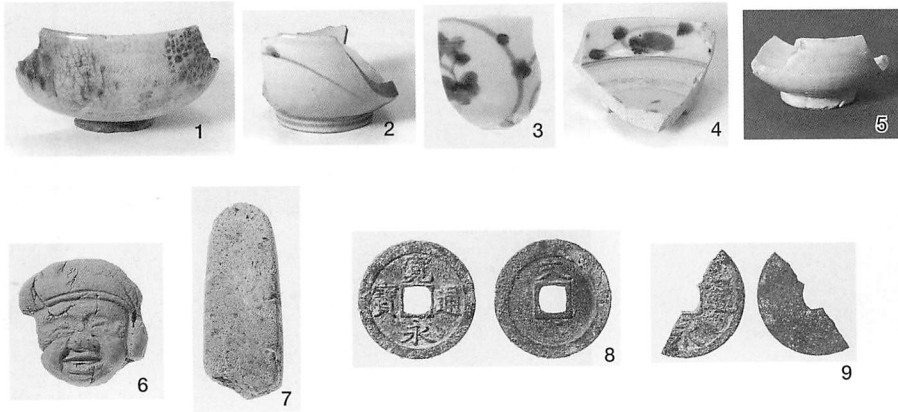
神明後遺跡第22地点土坑 8



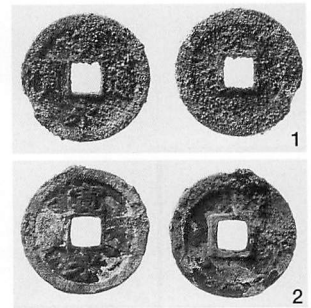
神明後遺跡第22地点土坑 9



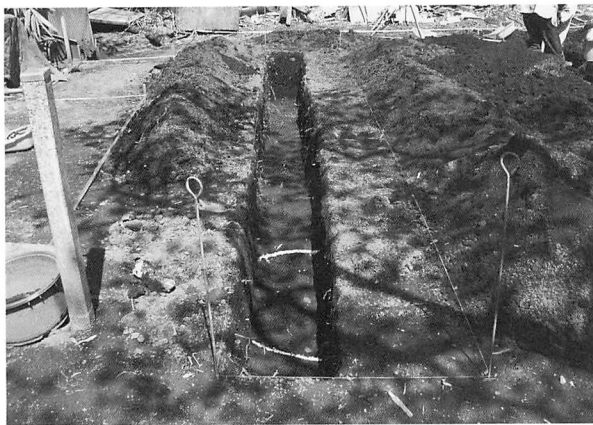
神明後遺跡第22地点土坑10



神明後遺跡第22地点出土遺物



神明後遺跡第23地点出土遺物



神明後遺跡第21地点試掘調査



神明後遺跡第23地点地下室



神明後遺跡第24地点試掘調査



神明後遺跡第25地点試掘調査